

賑わいのあるまちづくりの促進

中心市街地等の活性化とまちづくり

県民アンケート
(H17.7)

富山県広域まちづくり
商業振興懇談会
提言(H18.2)

国への提言
(H17.11~)

- ・中心市街地活性化
- ・大型店の立地調整
の新たな仕組み

まちづくり3法の
見直し (H18.5)

- ・中心市街地活性化法
〔基本計画〕富山市、高岡市
- ・都市計画法
県の広域調整機能

第3期計画
(5年間: H29~33)

認定中心市街地の活性化支援

- ・認定中心市街地支援事業 (1,500万円)
富山市、高岡市の第3期中心市街地活性化基本計画に記載された事業の推進を支援
- ・市街地再開発事業 (6億3,000万円) [土木]
(富山市) 中央通りD北地区
商業、業務、スポーツ交流施設、住宅等の複合施設の整備への支援
(高岡市) 高岡駅前東地区
ホテル、住宅等の複合施設の整備への支援



中心市街地での商店街と
大型商業施設の連携イベント

商店街の再生を図る取り組み

- ・若者女性等まちなかオフィス応援モデル事業 (500万円)
実物件でのリノベーションワークショップの開催や
まちなかの遊休資産を活用したシェアオフィス等の整備を支援
- ・がんばる商店街支援事業 (1,000万円)
商店街等が実施する商店街活性化のための事業を幅広く支援
- ・若手・女性商業者グループ元気プラン支援事業 (231万円)
若手・女性商業者中心のグループ等が主導する先進的な商店街活性化事業を支援



商店街の空き店舗を
改装したシェアオフィス



若手商業者が企画した
イベントで賑わう商店街

社会環境の変化に応じた新たな取り組み

- 新 電子商取引市場参入支援事業 (370万円)
電子商取引市場への参入を促進するためのセミナーや販売力アップを図る講座、
実店舗でのキャッシュレスを推進するためのセミナーを開催

美しい景観づくり・まち並みづくり

- 新 「とやまビューポイント」選定事業 (100万円) [土木]
優れた景観を眺望できる地点の公募、選定に向けた現地調査を実施
- ・美しい景観づくり推進事業 (928万円) [土木]
景観アドバイザー派遣による県民、市町村等が行う景観づくりへの支援、
うるおい環境とやま賞や景観づくりフォーラムなどを実施
- ・屋外広告物適正化推進事業 (125万円) [土木]
違反広告物等の是正指導や早期改善を促進、景観広告とやま賞などを実施



雨晴海岸からの眺望

活力あるまちづくり

- ・まちの未来創造モデル事業 (8,000万円) [親交地]
市町村の総合戦略に基づき、市町村が多様な主体と連携し実施する
まちづくり、複数市町村が連携した活力ある地域づくりを支援
- ・地域拠点活性化支援事業 (400万円) [親交地]
市町村が実施する高校再編対象校の跡地利用等を中心とした地域
拠点活性化方策の検討を支援
- ・まちづくり総合支援事業 (7,000万円) [親交地]
市町村が実施する魅力的・先導的なまちづくり事業に対する支援
- ・富山駅観光総合案内所運営事業 (1,745万円) [親交地]
富山駅構内の観光案内所における多言語対応やレンタルサービスなど、
国内外からの旅行者にサービスを提供
- ・広域観光案内所運営事業 (920万円) [親交地]
県内4ヶ所の広域観光案内所の運営を支援
- 新 「あいの風とやま鉄道」新駅(富山~東富山間)設置支援事業
(1億833万円) [親交地]
あいの風鉄道が行う「富山~東富山間」の新駅設置に対する支援
- 新 5G利活用推進事業 (1,750万円) [経管]
2020年の5Gの商用化を見据えた、利活用等に関する検討会の開催や普及啓発イベントを実施
- ・まちなか県有資産有効活用調査検討事業 (350万円) [経管]
県都中心部の県有地について県民のニーズを把握し、有識者会議により活用策を検討
- 新 日本青年会議所第68回全国大会富山大会事業 (2,000万円)
多くの会員を迎える全国大会の開催を支援し、本県の様々な魅力を広くPR



小矢部市津沢あんどん
ふれあい会館建設



富山駅の観光案内所

水辺のまちの魅力づくり

- 新 富岩水上ライン・ターミナル拡張事業[2月補正] (3,700万円) [親交地]
新艇「kansui」(エアコン付)就航や冬期運航を見据え、環水公園内の富岩
水上ライン待合スペースを拡張
- ・環水公園等賑わい空間創出事業 (1,920万円) [親交地]
飲食やアートを楽しむナイトマーケットを中心としたイベント(H31新規)
や、夏季、冬季の花火イベントなどによる通年での賑わい創出
- ・富岩水上ラインの利用促進 (481万円) [親交地]
富岩水上ラインを活用したイベント開催や各種媒体を使った
魅力発信
- 新 環水公園エリア魅力発信事業 (370万円) [親交地]
環水公園エリアのパンフレットを新たに作成
- ・富山県美術館企画展の開催 (1億4,375万円) [生環]
- 新 富山県美術館魅力発信事業 (698万円) [生環]
ポスタータッチパネルの作品充実、2020.1.3年始開館の試行、
富山県美術館魅力発見イベントの実施
- ・富山県美術館プロムナード活性化事業 (750万円) [生環]
賑わい創出のためのミニイベント等を実施



環水公園の賑わい
「スイートクリスマス」



富山県美術館

高校教育のさらなる充実 (再編統合に関連する8校を最重点に支援)

総額19億5,539万円

学習活動のさらなる充実

魅力と活力ある学校づくり推進事業(1,300万円) ★

・各校の特色ある教育活動を充実

対象校	校数	支援額	支援期間
再編統合する学校 ※1	4	60万円	4年間 (H30~)
再編統合先の学校 ※2	4	60万円	2年間 (H30~)
上記以外	24	30万円	1年間

※1 学校行事の魅力などを特別に支援
※2 新高校での取組みの検討・試行を特別に支援

新たな学び創造事業 (248万円) ★

・次期学習指導要領や大学入学共通テスト等の高校教育の変革に的確に対応できる授業改善
・拠点校18校を中心に実施し、全校に拡大

再編8校全てを拠点校に指定

拡 ICT教育推進事業 (6,275万円) ★

・ICT機器を活用した効果的な授業を推進
・校内に無線LAN環境を整備
実施校:27校→42校
タブレット:1,024台→1,522台



学校施設・設備のさらなる充実

新 県立高校普通教室空調整備事業(3億5,933万円)

・2ヶ年で県立高校普通教室に空調を設置 (87教室)
・PTA設置の空調は買取り等により公平性を確保

新 再編統合による新高校の整備 (1億1,260万円)

・新高校が魅力あるものとなるよう施設・設備を整備

新 県立学校施設の長寿命化改修 (1,900万円)

・「学校施設の長寿命化計画」に基づく改修を計画的に実施

拡 県立学校のトイレ洋式化 [一部2月補正] (6億9,836万円)

・生徒用トイレを100%洋式化

拡 運動場等整備事業(1億7,498万円)

・グラウンド:2校(上市高校、石動高校)
・テニスコート:2校(富山いずみ高校、小杉高校)



拡 武道場の改築 (4億9,250万円)

・改築:2校(南砺福野高校、入善高校)
・設計:2校(八尾高校、富山東高校(体育館とともに改築))

再編統合先の学校を優先して改築

生徒指導・支援体制のさらなる充実

高校スクールカウンセラーの配置(1,771万円)

・心の専門家として臨床心理士などを配置
・再編8校を含む拠点校16校に配置
・要請に応じて拠点校以外の学校を支援

高校スクールソーシャルワーカーの派遣(268万円)

・福祉に関して専門的な知識、技術を有する社会福祉士等の専門家を派遣
・再編8校及び拠点校4校に派遣
・要請に応じて、再編校以外の学校に派遣



とやま型スーパーグローバルハイスクール事業(823万円) ★

・海外有名大学等での現地研修や事前事後研修を支援

とやまの高校生留学促進事業 (515万円)

スーパーサイエンスハイスクール事業 (100万円) ★

・探究力や科学的思考力を身に付けた科学技術系人材を育成

新 ICTを活用した英語教育推進事業(500万円)

・英会話アプリを活用し、生徒の英語力を向上

とやまの中・高校生ライフプラン教育の充実(300万円) ★

・生徒の発達段階に応じたライフプラン教育を実施

新 社会へ羽ばたく「17歳の挑戦」事業 (248万円) ★

・新たに実施するアカデミック・インターンシップを含め、企業などで2日以上就業体験

新 小中高校キャリア教育の充実 ★

・キャリア・パスポートを作成し、自分の取組みを振り返り

拡 中央農業高校寄宿舎の改築(8億6,000万円)

拡 学校修繕(全日制、定時制、特別支援)(7億9,800万円)

拡 県立学校防犯備品等整備事業(230万円)

・不審者の侵入等に備え、県立学校に「さすまた」等の防犯備品を整備

新 学校安全対策緊急点検事業 (540万円) [警察]

・2ヶ年で全学校の防犯マニュアルの緊急点検を実施

SNSを活用したいじめ相談モデル事業 (950万円)

・相談体制構築に向けたモデル事業を実施し、効果や課題を検証(高校4校)

高校生郷土史・日本史学習教材活用事業(354万円) ★

・補助教材等を使用し、郷土史・日本史学習を実施

教師力向上支援事業(400万円) ★

・国内外への教育事情視察等教員の自発的な研修を支援

拡 部活動指導員配置促進事業 (704万円)

・教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、部活動指導員を県立高校に配置(10名→20名)

新 高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業(3,874万円)

・教員の負担軽減と障害者雇用促進のため、新たに高校版スクール・サポート・スタッフを県立学校に配置(20名)

修学支援

高等学校等就学支援金等 (29億4,022万円) [教委・総政]

・一定の収入額(年収910万円程度)未満の世帯に「就学支援金」等を支給

拡 高校等奨学のための給付金 (2億2,762万円) [教委・総政]

・低所得世帯の高校生に給付金を支給(第1子の単価を引き上げ)

奨学資金貸付金事業 (1億7,608万円) [教委・総政]

特別支援教育

とやまの特別支援教育強化充実事業等(1,599万円) ★

就学相談体制の充実

・発達障害支援アドバイザーによる就学相談体制の充実

学校への支援の充実

・小中学校巡回指導員、高等学校巡回指導員による専門的な指導助言

就労支援の充実

・特別支援学校就労コーディネーター、障害者就労サポーターによる就労支援の充実

教員の専門性の向上

・巡回指導員を講師とした校内研修会を実施
・現職教員の特別支援学校教諭免許取得に必要な講義を集中開講



高等学校における通級の指導の実施

・通級の指導を実施し、特別な支援を要する生徒への指導を充実

拡 医療的ケア看護師配置事業 (3,657万円)

・特別支援学校において医療的ケアを行う看護師の配置の拡充(21名→23名)

新 魅力ある新高校のための施設・設備の整備

総額 3億3,057万円
 新高校の整備 1億1,260万円
 学校修繕費等 2億1,797万円

※ 2020年の開校に向け、新高校が魅力あるものとなるよう、必要な施設・設備を段階的・計画的に整備

泊高校と入善高校による新高校

- 普通教室の空調増設（空調整備費で対応）
・学級増となる新高校に1教室増設
- 農業科バイオ機器更新（科学技術教育設備充実費で対応）
・農業科のバイオ実習を充実するため、クリーンベンチや人工気象器を更新



- アーチェリー練習場整備（学校修繕費で対応）
・2020年度から2年間は泊高校で部活動を合同で実施
・雨天時にも屋外で練習できるよう射場部分に屋根を設置
- 第2体育館屋根・外壁改修（同上）
- 暖房配管改修（同上）

- 泊高校の整備【H30】
・ICT教育実践校の指定
・トイレ洋式化
- 【H31】
・普通教室の空調増設（6教室）
・アーチェリー練習場整備（再掲）

高岡西高校と高岡高校による新高校

- 第1体育館屋根改修（学校修繕費で対応）
・学校行事や授業、部活動の場となる第1体育館の屋根をリフレッシュ



館内の様子

- 高岡西高校の整備【H30】
・ICT教育実践校の指定
・トイレ洋式化

水橋高校と富山北部高校による新高校

- 普通教室の空調増設（空調整備費で対応）
・学級増となる新高校に6教室増設

くすり・バイオ科の学級増に伴う学習環境の充実

- 実習設備の更新・新增設（6,800万円）
- 実習室の空調設置（学校修繕費で対応）



体育コース設置に伴う施設・設備の整備

- 授業・部活動の移動用バスの購入（860万円）
・2020年度から2年間は3競技が水橋高校で授業と部活動を合同で実施
陸上、フェンシング、カヌー
・生徒の移動用バスを購入
- フェンシング審判器、カヌーの更新（797万円）
- サッカー部、野球部部室改修（学校修繕費で対応）
- 防球ネット増設・改修（同上）

- 水橋高校の整備【H30】
・ICT教育実践校の指定
・トイレ洋式化
- 【H31】
・フェンシング審判器更新（再掲）
・カヌー更新（再掲）

南砺福光高校と南砺福野高校による新高校

- 普通教室の空調増設（空調整備費で対応）
・学級増となる新高校に1教室増設

国際科の外国語学習環境の充実

- 生徒1人1台のタブレットPC整備（ICT教育推進費で対応）
・リスニングやスピーキング能力向上に活用
- 外国語学習用特別教室備品整備（科学技術教育設備充実費で対応）



福祉科の実習

- 実習棟の整備（2,600万円）
・食品加工室、入浴実習室、ライフル射撃場を一体的に整備
- ビームライフル銃更新（203万円）
・2020年度から2年間は南砺福光高校で部活動を合同で実施
・銃8挺を最新式のものに更新
- 第2体育館防水改修（学校修繕費で対応）

- 南砺福光高校の整備【H30】
・ICT教育実践校の指定
・トイレ洋式化
- 【H31】
・ビームライフル銃更新（再掲）

さらに

こうした施設・設備の整備に加え、入善高校、南砺福野高校の武道場を改築（4億1,200万円）

教育の振興 — 小中学校 —

★富山スタンダード…富山ならではの質の高い教育を行って(明日のとやま教育創造懇話会提言) いくための特色ある取組みや環境整備 (H21.1月)において、推進を提唱

学習活動

英語教科化の先行実施への対応 ★

小学校英語教育モデル事業(1億150万円) ★

・モデル校29校に英語専科教員を配置

新 英語専科教員の配置(1億150万円) ★

・全市町村に英語専科教員を配置

英語学習パートナーの派遣(120万円) ★

・県内大学生を小学校の外国語活動の授業補助者として派遣(50校)

新 ICTを活用した英語教育推進事業(500万円)

・英会話アプリを活用し、児童生徒の英語力を向上

小学校専科教員の配置(5,441万円)★(3~6年生対象)

・理科等の学習内容の高度化に対応するため、専科教員(71校)を配置(理科35校、音楽・図工・体育36校)

県独自の少人数教育の推進 ★

少人数教育推進事業(小学校)(6,972万円) ★

・小3・4年生での35人学級選択制など少人数指導と少人数学級を組み合わせた効果的な少人数教育を実施

少人数教育推進事業(中学校)(2,717万円) ★

・中1・35人学級選択制を実施し、該当校に少人数指導の正規教員や非常勤講師を配置

学びサポート講師の配置(小学校)(2,752万円) ★

・小中規模校に非常勤講師(15校)を配置

学びサポート講師の配置(中学校)(917万円) ★

・小中規模校に非常勤講師(5校)を配置

中1学級支援事業(551万円) ★

・中1ギャップへの対応のため、中1学級支援講師(18校)を配置

拡 とやま型学力向上総合支援事業(2,278万円) ★

「学力向上推進会議」の設置

「授業の達人」活用事業

・授業実践に優れた現職教員を授業の達人として活用

アクティブ・ラーニング推進リーダー育成事業

学習習慣・生活習慣育成事業

学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業

新 小中高キャリア教育の充実

・キャリア・パスポートを作成し、自分の取組みを振り返り



新 小中学校におけるICT教育総合支援事業(100万円)★

・小中学校のICTを活用した授業改善を支援(8市町村)

とやま科学オリンピックの開催(812万円)★

・小・中・高校生を対象に、人文・社会科学分野も含め、実験・観察も取り入れた富山ならではの大会を開催

安全・安心

子どもの登下校安全対策推進事業(218万円)

・児童生徒の安全・安心を確保するため地域における子どもの安全対策を推進

学校安全教育推進事業(51万円)

・危機管理マニュアルの見直し等のため
学校安全アドバイザーを派遣



新 学校安全対策緊急点検事業(540万円)[警察]

・2ヶ年で全学校の防犯マニュアルの緊急点検を実施

幼稚園等保育料軽減事業(1,172万円)[教委・総政]

・ひとり親世帯や低所得者層に対する保育料等の負担を軽減

小学1年生安心子育て支援事業(64万円)★

・小学校入学前後の子どもをもつ保護者を支援するためのリーフレットを配布

新 幼児教育センターの設置(200万円)★

・幼児教育の研修内容を充実させるため、「幼児教育センター」を設置し、幼稚園等にアドバイザーを派遣



私立小中学校修学支援実証事業(190万円)[総政]

・低所得世帯の生徒に授業料減免を行いつつ、私立小中学校を選択している理由等について調査を実施

教員の働き方改革(多忙化解消対策)

拡 スクール・サポート・スタッフ配置事業(5,143万円)

・教員が子どもと向き合う時間を確保するため、スクール・サポート・スタッフを各市町村の小中学校に配置(30名→36名)

拡 部活動指導員配置促進事業(1,613万円)

・教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、部活動指導員の中学校配置を支援(37名→72名)

拡 とやま親学び推進事業(350万円)★

・「親学び講座」の対象を0~2歳児の保護者に拡大

中学校放課後学習支援推進事業(608万円)

・中学生を対象に放課後等を活用して地域住民等の協力による学習を支援



ふるさととやまの自然・科学探究推進事業(333万円)★

・富山の自然を通じて科学的な考え方を養うための副読本を小学生に配布するとともに、観察・実験等の体験学習を積極的に行った児童へ認定証を発行

拡 とやま産地消推進事業(953万円)[農林]

・県産食材の学校給食への広域的活用拡大に向けたコネクティブ機能の充実など

生徒指導・支援体制

拡 小・中スクールカウンセラーの配置(1億5,408万円)

拡 小学校スクールカウンセラーの配置(全公立小学校182校)

・配置時間を拡大

中学校スクールカウンセラーの配置(全公立中学校79校)

いじめ対策カウンセラーの派遣

・いじめの事案発生時に、児童生徒の心のケア、いじめの背景や原因の究明



小・中スクールソーシャルワーカーの派遣(1,660万円)

・全中学校区に派遣(富山市を除く53中学校区)

いじめ対策ソーシャルワーカー派遣事業(388万円)

・いじめの事案発生時に、家庭環境等の改善を図るため派遣

SNSを活用したいじめ相談モデル事業(950万円)

・相談体制構築に向けたモデル事業を実施し、効果や課題を検証(中学校4校(高校4校でも実施))

いのちの教育総合支援事業(137万円)

24時間いじめ相談電話の設置(795万円)

不登校児童生徒対策事業(555万円)

心のサポーター派遣事業(39万円)



拡 とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業(137万円)★

・新たに小学校での「学校ネットルールづくり」の取組みを支援(4市町村)

・ネット監視員が不適切な書き込み等を検索し、関係学校に報告



いじめ防止対策推進事業(135万円)

・「いじめ問題対策連絡会議」と「富山県いじめ防止対策推進委員会」により、いじめの未然防止、早期発見・早期対応を推進

社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業(1,613万円)★

・中学2年生が職場体験、福祉・ボランティア活動等に参加



新 キャリア教育等連携推進会議の設置(35万円)

・関係機関の連携により、各事業の成果や課題を検証

ふるさと教育と魅力あるふるさとづくり

1 学校における「ふるさと教育」の推進

郷土の歴史や文化を学ぶ

≪郷土史等の学習≫

- ・世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム事業
大学・高校生等の若者を対象に、ふるさと富山の魅力や世界遺産の重要性を普及啓発 117万円
- ・戦争を語り継ぐ事業 129万円[厚生]
戦争体験者による語り部派遣、手記の朗読会や戦時下の暮らし展を開催
- ・高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 354万円[教委]

≪自然体験や異文化との交流≫

- ・環日本海インターハイ事業 365万円[教委]
環日本海諸国の高校生とのスポーツ交流を通じた相互理解と友好促進
- ・富山県高等学校生徒海外派遣事業 1,822万円[教委]
- ・とやま型スーパーグローバルハイスクール事業 823万円[教委]

3 魅力あるふるさとづくり

- ・文化財の美装化等推進事業 1,590万円[教委]
文化財の美装化や公開活用のための防災・防犯設備整備への支援
- ・富山の文化遺産魅力発信事業 135万円[教委]
富山の文化遺産の魅力を国内外に広く発信する取組みを支援
- ・文化財ボランティアの外国人対応力向上事業 70万円[教委]
外国人観光客へ文化財の魅力を広く発信するため、解説ボランティアや通訳ボランティアを養成
- 【新】20世紀遺産・立山砂防の世界的価値発信事業 1,350万円
20世紀遺産・立山砂防の世界的価値を発信するシンポジウムの開催やパネル展示を行うもの
- ・「義仲・巴」魅力発信事業 120万円
ゆかりのある自治体等との連携によるラジオ番組の制作や講演会の開催
- ・官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業
官民連携による富山湾の活用・保全の取組みを推進 513万円[親交地]
- ・まちの未来創造モデル事業 8,000万円[親交地]
- ・勝興寺本坊等保存修理事業 2,700万円[教委]

2 家庭、地域における「ふるさと教育」の振興

(1) ふるさと富山の自然、歴史、文化などを学び、親しむ

①越中万葉を学び、楽しむ

- 【新】第2回大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞の募集 100万円[生環]
- 【新】大伴家持海外発信事業 100万円[生環]
大伴家持の秀歌等を紹介したPR冊子を作成し、世界で最も美しい湾クラブ総会などで海外に向けて発信

②郷土の偉人の志や業績を学ぶ

- ・首都圏研修旅行サポート事業 180万円
県内高校生等の研修旅行等の際、東京富山県人会連合会員が県ゆかりの地を案内
- ・ふるさと教育推進事業 83万円[教委]

③郷土の自然、くらし、産業等を学び、親しむ

- ・ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 333万円[教委]
自然を通じて科学的な考え方を養うための副読本を小学生に配布、体験学習を行った児童へ認定証を発行
- 【新】20世紀遺産・立山砂防の世界的価値発信事業(再掲) 1,350万円
- ・立山カルデラ魅力再発見事業 910万円[土木]
県営立山砂防事業の現地調査・とりまとめ
- 【新】「立山砂防区域平面図」の展示・PR事業 90万円[土木]
県営立山砂防事業の貴重な史料の複製・展示
- 【新】立山砂防の国際学会発表事業 480万円
世界に誇れる防災遺産・立山砂防の顕著な普遍的価値について国際イコモス年次総会で発表
- 【新】ふるさと水環境保全活動者養成事業 220万円[生環]
- 【新】デザインの魅力発見プログラム事業 100万円[商労]
- 【新】中高生ものづくり産業技術魅力探検事業 150万円[商労]

- ・県民ふるさとの日記念事業 548万円
- ・日本海学推進事業 748万円[親交地]
- ・富山湾の魅力体験親子教室開催事業 70万円[親交地]
- ・イタイタイ病資料館管理運営事業 4,588万円[厚生]
- ・有峰森林文化村推進事業 4,845万円[農林]
- ・「とやまの土木」制作事業 165万円[土木]

所管部局名のない事業は、総合政策局所管事業

④ ふるさと文学を学び、楽しむ

- 【新】文学を楽しもう！移動文学館事業 180万円[生環]
ふるさと文学作品等の内容を小中学校に出張展示
- 【新】ゆかりの作家ライブラリー事業 200万円[生環]
富山ゆかりの作家等のインタビュー映像の制作・展示
- 【拓】高志の国文学館魅力発信事業 961万円[生環]
中高生向けの講座や、ふるさと文学連続講座、朗読と音楽の夕べの実施など、高志の国文学館の魅力を発信

- ・高志の国文学館企画展の開催 3,923万円[生環]
- ・「高志の国文学」情景作品コンクール開催事業 83万円[教委]

⑤ ふるさとへの誇りと愛着を育む

- ・地域課題学び活かしチャレンジ講座 100万円[教委]
ふるさとの魅力発信や高齢化などの地域の様々な課題をテーマとした講座を開設
- ・立山博物館企画展の開催 1,455万円[生環]
- ・生涯学習情報ネットワーク事業 631万円[教委]

(2) 家庭や地域で学び、親しむ

- ・土曜日の豊かな教育活動推進事業 1,233万円[教委]
- ・中学校放課後学習支援推進事業 608万円[教委]
中学生を対象に放課後等を活用して地域住民等の協力による学習を支援
- ・田んぼの生き物調べ事業 33万円[農林]
- 【新】はつらつ公民館学び支援事業 200万円[教委]
公民館を拠点とした地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を支援
- ・放課後子ども教室推進事業 2,859万円[教委]
- ・家庭教育かわら版事業 150万円[教委]
- ・「朝から元気とやまっ子」食育・健康教育推進事業 127万円[教委]

4 リーダー等の育成

- ・とやま観光未来創造塾事業 2,300万円[親交地]
- ・富山ふるさとマスター派遣事業 103万円[親交地]
- ・とやま起業未来塾事業 1,942万円[商労]
- 【拓】とやま農業未来カレッジ事業 3,131万円[農林]
- ・「とやま食の匠」の認定・活動支援事業 33万円[農林]
- ・「県民ふるさと大賞」表彰事業 58万円

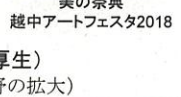
芸術文化の振興

新世紀とやま文化振興計画 (H30年改定)
～富山から世界に、人と文化の輝く「元気とやま」の創造～

文化活動への幅広い県民の参加

文化を鑑賞・創造・発表する機会の充実

- ・公立文化ホールネットワーク支援事業 (1,300万円)
(公立文化ホールによる共同公演事業等を支援)
- ・内山邸の魅力発信事業 (270万円)
(観桜の会、観月の会、梅園茶会等)
- ・水墨美術館開館20周年記念企画展の開催 (5,165万円)
(「中島千波」展、「小倉遊亀」展等)
- ・立山博物館企画展の開催 (1,455万円)
(「立山ふしぎ大発見!？」展等)
- ・とやま舞台芸術祭開催支援事業 (2,000万円)
- ・県民芸術文化祭開催事業費負担金 (1,820万円)
- ・富山県美術館企画展の開催 (1億4,375万円)
『日本の美 美術×デザイン』琳派、浮世絵版画から現代へ』展
『チェコ・デザイン100年の旅』展等
- ・富山県美術館アトリエ・ギャラリー等活用事業 (947万円)
(幅広い年齢を対象とした創作ワークショップなどの教育普及活動を実施)
- ・富山県美術館魅力発信事業 (698万円)
(ポスタータッチパネル作品充実、2020.1.3年始開館試行、美術館魅力発見イベントの実施)
- ・富山県美術館プロムナード活性化事業 (750万円)
(賑わい創出のためのミニイベント等を開催)
- ・富山・東京連携文化パフォーマンス事業 (200万円)
(東京2020大会に向けた「東京キャラバンin富山」の開催)
- ・富山県美術館企画展の開催 (1億4,375万円)
- ・富山県美術館アトリエ・ギャラリー等活用事業 (947万円)
- ・富山県美術館魅力発信事業 (698万円)
- ・富山県美術館プロムナード活性化事業 (750万円)
- ・富山・東京連携文化パフォーマンス事業 (200万円)



次世代を担う子供たち、青少年の文化活動の充実

- 【新】2020年とやま世界子ども演劇祭の開催準備支援 (450万円)
(2020年とやま世界子ども演劇祭～第4回とやま世界子ども舞台芸術祭～の事前準備事業及びプレ公演への支援)
- 【新】全国中学校総合文化祭富山大会の開催 (300万円) (教委)
- 【拡】次世代育成音楽ふれあい事業 (2,100万円)
- 【新】世界的なチェリストによる演奏会 (400万円)
県立文化ホールや富山県美術館で世界的なチェリストによる演奏会を開催
- ・とやま室内楽フェスティバル開催支援 (200万円)
- ・0歳から参加できるコンサート (1,050万円) など
- ・とやま世界子ども舞台芸術祭2016
- ・とやま室内楽フェスティバル
- ・芸術文化指導者招へい事業 (567万円)
(音楽、舞踊などの優れた専門家を招き、若手芸術家等を指導)
- ・青少年美術展、とやま子ども舞台芸術祭開催支援事業 (359万円)

県立文化施設の整備・充実

- ・県立文化施設機能強化推進事業 (2億円)
(県立文化ホールや博物館の設備等の機能向上や修繕を計画的に実施)
新川文化ホール(7,200万円)、県民会館(3,850万円)、金岡邸(2,800万円) など

質の高い文化の創造と世界への発信

アジアを代表する舞台芸術の拠点づくり <舞台芸術特区TOGA>

- 【新】シアター・オリムピックスの開催 (2019.8.23～9.23)
(2億8,917万円 (総事業費6億3,076万円))
世界最先端の舞台芸術の祭典「第9回シアター・オリムピックス」を、南砺市利賀村(県利賀芸術公園)や黒部市で開催、祭典史上初となる日本とロシアによる共同開催
- ・利賀芸術公園機能向上事業 (3,144万円)
(舞台装置格納施設の整備、字幕表示装置の導入)



鈴木忠志氏演出
「世界の果てからこんにちは」

アートとデザインをつなぐ場の創出

- ・富山県美術館企画展の開催 (1億4,375万円)
- ・富山県美術館アトリエ・ギャラリー等活用事業 (947万円)
- ・富山県美術館魅力発信事業 (698万円)
- ・富山県美術館プロムナード活性化事業 (750万円)
- ・富山・東京連携文化パフォーマンス事業 (200万円)



富山県美術館

高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興

- 【新】文学を楽しもう！移動文学館事業 (180万円)
(ふるさと文学作品等の内容を小中学校に出張展示)
- 【新】ゆかりの作家ライブラリー事業 (200万円)
(富山ゆかりの作家等のインタビュー映像の制作・展示)
- 【新】第2回大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞の募集 (100万円)
- 【新】大伴家持海外発信事業 (100万円)
(大伴家持の秀歌等を紹介したPR冊子を作成し、世界で最も美しい湾クラブ総会などで海外に向けて発信)
- ・高志の国文学館企画展の開催 (3,923万円)



第1回大伴家持文学賞
マイケル・ロングリー氏

ふるさとの歴史・文化の再発見と発信

- 【新】20世紀遺産・立山砂防の世界的価値発信事業 (1,350万円) (総政)
- ・立山カルデラ魅力再発見事業 (910万円) (土木)
(県営立山砂防事業の現地調査・とりまとめ)
- 【新】「立山砂防区域平面図」の展示・PR 事業 (90万円) (土木)
- 【新】立山砂防の国際学会発表事業 (480万円) (総政)
- 【新】立山の至宝保存修復事業 (756万円)
(立山曼荼羅をはじめとする文化財の修復等を実施)
- ・富山の文化遺産魅力発信事業 (135万円) (教委)
(富山の文化遺産の魅力を国内外に広く発信する取組みを支援)
- ・文化財の美化等推進事業 (1,590万円) (教委)
(文化財の美化や公開活用のための防災・防犯設備整備への支援)

文化と他分野の連携

文化を活かした産業の振興

- 【新】「国際工芸アワードとやま」(仮称)の開催 (1,900万円)
(U-50国際北陸工芸アワードの成果をふまえ、富山の工芸の魅力を国内外に発信する国際的なアワードの開催)
- 【拡】「国際北陸工芸サミット」関連催事の開催 (650万円)
- 【拡】クリエイティブ・デザイン・ハブプロジェクト推進事業 (250万円) (商勞)
(クリエイティブ・デザイン・ハブを拠点として、新たなデザイン性に優れた商品開発を推進)
- 【新】VR技術研究・活用促進事業 (600万円) (商勞)
(バーチャルスタジオを活用して県内企業の効率的なデザイン開発、付加価値の高い製品開発を支援)
- 【拡】デザイン交流拠点化推進事業 (480万円) (商勞)
(「とやまD・DAYS2019」を開催し、総合デザインセンター一帯を総合的なデザイン交流拠点として国内外に発信)
- 【拡】大学連携デザイン人材マッチング事業 (300万円) (商勞)
(県内外のデザイン系大学と連携したワークショップ等により、県内企業と学生とのマッチングを支援)
- 【新】「工芸魅力向上会議(仮称)」運営事業 (150万円) (商勞)
(本県の伝統工芸品等のさらなる魅力向上に向けた取組みを検討)



豊かな食の廣き上げとブランドイメージの向上

- 【拡】「越中とやま食の王国」づくり事業 (2,228万円) (農林)
(料理人考案メニューを掲載した食材ガイドの制作やHPのリニューアルなど)
- 【拡】「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業 (2,142万円) (農林)
(首都圏でのPRや有名料理人等を招いた「富山のさかな」魅力体験ツアーの実施等)

文化を活かした観光の振興

- ・アートのまちめぐりパスポート事業 (300万円) (観光地)

文化を活かしたまちづくり・地域づくり

- 【新】南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2019の開催支援 (900万円)
(世界5大陸から招聘した作家が、それぞれの民族・伝統・文化を象徴した木彫刻作品を公開制作・展示する国際的なキャンプを支援)
- ・地域文化力向上・活性化支援事業 (450万円)
(万葉集全20巻朗唱の会、スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドなどを支援)



万葉集全20巻朗唱の会

情報通信技術を活用した文化の創造と発信

- ・富山県映像センター運営事業 (409万円) (教委)

平成31年度「県民参加による水と緑の森づくり事業」

～水と緑に恵まれた県土の形成と心豊かな県民生活の実現～

当初計画額

4億2,533万円

新たな富山県森づくりプラン（H29～2026年度）

水と緑の森づくり税の延長と税の一部引き上げ（H28.6 県議会可決）

- ・「水と緑の森づくり税」をH33年度まで5年間延長
- ・資本金等の額が10億円超の企業の税額を増額

新たな目標を設定

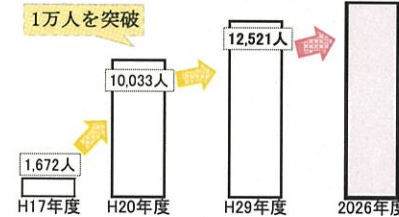
多様な森づくりの推進

（単位：ha）

区分	実績 H19-28	実績		計画		目標 H29-2026年度
		H29	H30(見込)	H31	2020-2026	
里山林整備	2,628	216	281	274	1,229	2,000
混交林整備	1,290	53	67	67	313	500
「立山 森の輝き」 植栽	42	20	20	20	400	460

県民参加による森づくり の年間参加延べ人数

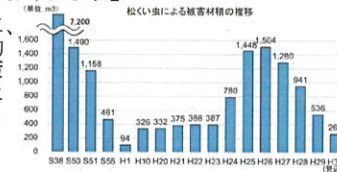
目標(2026年度)
13,000人



新たな取組み

【海岸林での重点的な松くい虫被害対策】

・海岸林及びその周辺区域を対象に、平成29～30年度の2ヶ年で一体的かつ重点的な松くい虫の被害対策を実施、被害量は被害が急増した平成24年度以前の水準まで減少



松くい虫被害対策重点区域内での伐倒駆除

【森づくりサポーターの活動支援】

・過疎化、高齢化により困難となった里山林の維持管理を「森づくりサポーター」と地域住民が協働で実施

区分	H29	H30(見込)	計
活動実施地区数	2地区	8地区	10地区
活動参加人数	33人	82人	115人



地域住民と森づくりサポーターによる里山林整備

多様な森づくりの推進

里山再生整備事業(274ha)

【1億8,360万円】

- ・県民協働による里山林の整備を推進
- ・里山林の継続的な管理・利用を推進するため、里山地区のリーダーを養成
- ・松くい虫等の森林病害虫などによる枯損木を除去



地域住民による里山林の整備

みどりの森再生事業(67ha)

【8,882万円】

- ・奥山の過密人工林や竹林が侵入した人工林を整備し、混交林に誘導
- ・森づくり事業で使用する県産広葉樹苗を県民協働で育成



侵入竹林を混交林へ誘導

実のなる木の育成事業(10ha)

【300万円】

- ・カシノナガキクイムシの被害跡地に植栽した実のなる木の育成(下刈り)

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業(20ha)【7,486万円】

- ・スギ人工林伐採跡地への植栽、初期保育を支援

新・首都圏での優良無花粉スギ「立山 森の輝き」のPR



首都圏でのPR(東京都 日比谷公園)「みどりとふれあうフェスティバル」に出展

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」採穂林整備費

【933万円(関連事業)】

- 新・低コストな挿し木苗生産に向けた砺波採穂園の採穂林整備(採穂林造成0.85ha(全体計画3.22ha H31～2022年度))



魚津採穂園に造成した採穂林(H30完成) 挿し木苗生産のための採穂林



とやまの森を支える人づくりなどの推進

とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業【3,753万円】

- ・森林ボランティア活動を専門的・総合的に支援
- ・森づくり活動機器(ヘルメット、ノコギリ、チップパー機等)の貸出や保険料を支援
- ・森林ボランティアの施業技術の習得・向上等のため森づくり塾を開催(30回)



森づくり塾の開催

とやまの森づくり普及啓発推進事業【580万円】

- ・森づくりへの理解を深めるため「森の寺子屋」を開催(125回)
- ・フォレストリーダー(218名)の指導力向上のための研修を実施



森の寺子屋の開催

県民による森づくり提案事業【500万円】

- ・県民が自ら企画し、実践する森づくり活動を支援

県産材利用促進事業【2,035万円】

- 新・公共施設木造化や木製品導入等を支援(県産材を活用したフェンスを対象に追加)
- ・木育を推進するための県産材遊具の設置や導入を支援



県産材を活用したフェンスの導入を支援

とやまの森づくり総合情報システム事業【450万円】

- ・「とやまの森づくりHP」を活用し、森づくりに関する情報を県民に提供

県民全体で支える森づくりの推進と、森づくりの評価・改善

水と緑の森づくり推進事業【188万円】

- ・水と緑の森づくり会議、森林審議会森づくり部会を開催



とやま森と木のフェスタ(H30.5.20) ②②

とやま森の祭典の開催【500万円(一部森づくり税)】

- 新・全国植樹祭の成果を継承する新たな緑化イベントの開催

健康づくり・がん対策の推進と医療の充実

健康づくりとがん対策等疾病対策の推進

健康づくりの推進

◆生活習慣の改善◆

健康寿命日本一推進プロジェクト事業	5,500万円
「富山県健康寿命日本一推進会議」の開催	90万円
(拡)めざせ健康寿命日本一！普及啓発事業	650万円
本県の食文化を活かした食生活改善や運動習慣の定着に向けた県民の健康意識の啓発	
(新)脱メタボ！生活習慣向上キャンペーン事業	500万円
県民の生活習慣の特性を踏まえたメタボ予防策を普及啓発	
(拡)「健康経営」普及支援事業	580万円
健康づくり優良企業の表彰や「とやま健康企業宣言」の推進等	
(拡)働き盛りの健康づくり支援(健康ポイント)事業	600万円
スマートフォン活かしアプリを活用したGIS及びQRコード読み取り機能の追加	
(拡)生活習慣改善ヘルスアップ(健康合宿)事業	850万円
中高年齢者を対象に望ましい生活習慣を学ぶ健康合宿の開催・支援	
野菜をもう一皿！食べようキャンペーン推進事業	260万円
家庭での野菜摂取を促進する普及啓発をスーパー等に出展して展開	
食の健康づくり推進事業	450万円
野菜摂取や減塩等のメニューを提供する「健康寿命日本一応援店」の募集	
ヒーローステーション推進事業	70万円
健康で安全な入浴方法に関する普及啓発の実施	
地域の食の健康づくり推進事業	333万円
青少年期からの健康づくり支援事業	122万円
健康づくりボランティア養成事業	95万円
県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの推進	
【総政】500万円	
(新)国民健康保険ヘルスアップ支援事業	400万円
市町村の保健事業の取組みの後押しや課題克服への支援	

◆こころの健康づくり◆

(新)新入社員を対象とした漫画による精神障害普及啓発事業	370万円
うつ病等精神疾患の症状や対処方法を漫画を通してわかりやすく紹介	
(新)ひきこもり支援民間団体紹介事業	120万円
ひきこもり支援を行う民間団体を紹介する冊子を作成	
(拡)検索運動広告の活用による自殺対策	94万円
インターネットの検索運動広告を活用した若者の自殺対策	
(拡)依存症対策普及促進事業	87万円
啓発週刊誌におけるアルコール依存やギャンブル依存等に係るキャンペーン実施等	

◆歯と口の健康づくり◆

(新)成人期からの口腔機能維持向上事業	120万円
専門医の研修や口腔機能等のスクリーニングと歯科保健指導等の実施	
歯科衛生士等臨床定着支援事業	160万円
歯ッスルとやま 8020 推進事業	700万円
市町村が行う歯科保健事業に対する助成	

疾病対策の推進

◆がん対策の推進◆

がん対策推進県民会議・がん対策推進協議会の運営	200万円
(新)受動喫煙防止対策事業	200万円
受動喫煙防止対策推進協議会の開催、施設・事業所への説明会開催など	
(新)がん検診推進強化事業	250万円
事業所におけるがん検診等実施状況調査、事例集の作成	
(拡)女性がん対策強化事業	250万円
子宮がんや乳がん検診受診啓発のためのフォーラム等の実施	
節目検診・重点年齢検診推進事業	3,059万円
市町村の節目年齢検診(5歳前)等がん検診受診率向上を支援	
職域連携がん検診受診率向上支援事業	160万円
経営者向けがん検診の開催や従業員向け検診開催への支援	
がん診療連携拠点病院への運営支援	5,760万円
運営費補助金の交付	
がんの専門分野における質の高い看護師の育成	
がん看護臨床実習研修の実施	301万円
がん総合相談支援センターの運営・ピアサポーターの養成等	1,875万円
幅広い相談に対応する総合相談窓口の運営やがん患者を支援するピアサポーターの養成・資質向上等	
(新)小児・AYA世代の交流・ミニ講座	50万円
小児やAYA世代のがん患者・家族のための交流会等の開催	

◆感染症対策・各種疾病対策の推進◆

新興・再興感染症総合対策強化事業	538万円
エボラ出血熱・MERS 等に対応する体制整備等	
風しん検査事業	597万円
先天性風しん症候群予防のため、抗体検査を実施	
難病対策事業	13億9,906万円
(拡)難病診療連携拠点病院整備事業	950万円
イタイイタイ病総合対策事業	3,605万円
肝炎対策事業(肝がん予防)	1億4,060万円
(拡)職域における初回精密検査費用助成事業	
肝炎ウイルス検査陽性者に対する初回精密検査費用を助成	
(肝炎対策事業「再掲」の一部)	101万円
糖尿病対策推進強化事業	392万円
糖尿病患者の腎症等発生予防のため、協議会、研修会等を開催	
(拡)アレルギー疾患対策事業	100万円
脳卒中情報システム事業	455万円
(拡)地域リハビリテーション支援体制整備事業	1,380万円

◆周産期保健医療体制の整備◆

周産期医療設備整備事業	216万円
周産期母子医療センター運営事業	9,661万円
(拡)不妊治療費助成事業	2億2,165万円
男性不妊の初回治療の助成額を拡大(15万円→30万円)	
切れ目ない妊娠・出産包括支援推進事業	138万円
先天代謝異常等検査(タンデムマス法)事業	2,478万円

※所管部局名のみ。事業主、厚生部所管事業

医療提供体制の充実

医療機能の充実と連携の強化

地域医療介護総合確保基金の積増し	7億9,135万円
地域における医療及び介護の総合的な確保を推進	
医療機能分化・連携推進事業	349万円
「一般廃棄物から医療介護施設施設への転換を支援	

◆地域医療の推進◆

富山歯科総合学院施設・設備整備支援事業	1,537万円
歯科衛生士・歯科技工士を養成する富山歯科総合学院の整備を支援	

◆在宅医療・訪問看護の充実◆

(拡)富山県在宅医療支援センター運営事業	1,200万円
在宅医療推進加速化事業	650万円
郡市医師会の在宅医療推進に向けた取組みを支援	
医療・介護連携促進基盤整備事業	1,000万円
地域の医療・介護関係者が在宅医療者の医療・介護情報をリアルタイムに共有・活用できるICTシステム整備を支援(2地域)	
訪問看護ステーション整備支援事業	1,150万円
訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業	780万円
テレワーク型モデル事業、訪問看護師のトライアル雇用	
訪問看護ステーション業務改善推進事業	535万円
訪問看護ステーション連携加速化事業	509万円
病院看護師と訪問看護ステーション職員との人材交流・相互研修等による看護スキル向上と連携強化を支援	
(新)訪問看護ステーションサポート事業	180万円
医師側と訪問看護ステーション職員との人材交流・相互研修等による看護スキル向上と連携強化を支援	
(新)訪問看護等在宅ハラスメント対策研修事業	60万円
訪問看護職員等のハラスメント被害防止のための研修を実施	
小児在宅医療推進事業	165万円
小児在宅医療従事者の育成を支援	

◆リハビリ医療体制等の充実◆

富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの運営	5億5,927万円
回復期機能病床確保事業	1億4,500万円
急性期機能等から回復期機能への転換 340床	

◆災害医療体制の強化◆

災害時医療体制整備事業	502万円
災害医療等連絡協議会の開催、地域災害医療コーディネーター研修事業等	

◆救急医療体制の充実◆

ドクターヘリ運営推進事業	2億2,665万円
富山県ドクターヘリ事業の運営等	
子ども医療電話相談事業	1,343万円
小児救急電話「#8001」の運営	
県立中央病院「スーパーICU(特定集中治療室)」の拡充	
6床から8床へ増床し、運営費 3億8,058万円	
重症患者の増加に対応(H29:1,896人→H30:1,970人)	
(新)県立中央病院電子カルテ等病院情報システム更新	
(債務負担行為 20億8,900万円)	

人材の養成確保と資質の向上

◆医師養成確保対策の推進◆

特定診療科医師確保推進事業	4000万円
医師需要の調査研究、派遣・調整等を行う都府県協力を富大附属病院に設置	
医学生への修学資金貸与	1億4,648万円
女性医師等支援事業	758万円

◆看護職員養成確保対策の推進◆

(新)県立大学看護学部の開設・運営	8億5,001万円
看護師等養成所運営支援事業	1億3,692万円
看護学生への修学資金貸与	1億2,338万円
(新)地域看護大学生育成支援事業	1,296万円
県立大学看護学部開設に伴い、看護修学資金の県立大学特別枠を創設	
認定看護師教育課程運営事業	582万円
摂食・嚥下障害看護分野の養成	
病院内保育所運営支援事業	2,564万円
(新)看護師特定行為研修実施事業(中央病院)	755万円

◆薬剤師確保対策の推進◆

未来の薬剤師発掘セミナー開催事業	60万円
県内の中高生や保護者を対象とした未来の薬剤師発掘セミナーの開催	
薬剤師業務体験学習事業	140万円
中高生を対象とした薬局実習、病院実習、調剤実習の実施	

医薬品の研究開発の推進

(拡)地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業	10億5,500万円
産学官のネットワークを構築し、医薬品産業の振興や専門人材の育成・確保を推進	
創薬開発支援プロジェクト事業	3,000万円
バイオ医薬品・高薬理活性医薬品等の開発促進に向けた研究助成を実施	
新製剤開発探索研究支援事業	2,000万円
小児用医薬品等の高付加価値な製品の開発促進に向けた研究助成を実施	

【富山県立中央病院「先端医療棟」の実績】

(年間運営費 30億円)

- 高度ながん医療の提供等を目的にH28年9月竣工・稼働
- 最新鋭のがん検査・治療機器の導入で早期発見・治療
 - ◆MRI:検査待ち期間が8週間→1週間→2週間(検査件数3396増)
 - ◆CT:検査待ち期間が4週間→当日に短縮(検査件数13%増)
 - ロボット手術やハイブリット手術といった最新治療方法
 - や患者への負担が少ない次世代の低侵襲手術が実現
 - ◆大腸の内視鏡手術の待ち期間が2~4週間→1週間に短縮
 - ◆「ダ・ヴィンチ」によるロボット手術を76件実施(H30年)



富山県ドクターヘリ

・死亡者数5割減(49人減)
・重傷(後遺症を残した患者)数4割減(69人減)

<H27~29年度事後評価による>

地域共生福祉の推進

地域包括ケアの推進

○地域における福祉システムの形成

- ふれあいコミュニティ・ケアネット21事業 (6,810万円)
地域住民自らが福祉課題を解決する活動への支援
- (新)富山型デイサービス普及啓発事業 (490万円)
富山型デイサービスを通して介護の魅力やPRするパンフレット及びDVDの作成

○介護予防(社会参加)・生活支援の充実・確保

- 地域包括ケアシステム普及啓発事業 (289万円)
地域包括ケア活動団体の登録・顕彰、県民フォーラム等
- (拡)高齢者自立支援・介護予防推進事業 (300万円)
多職種協働による自立支援を促進するため地域ケア会議の立ち上げなどを支援
- 地域支援事業交付金 (7億9,564万円)
市町村の介護予防・日常生活支援総合事業等に対する支援
- エイジレス社会リーダー養成事業 (230万円)
生活支援や介護予防サービス等を行う団体・グループを設立するなど、地域社会の担い手となる人材を養成
- エイジレス社会活動推進事業 (344万円)
- 明るい長寿社会づくり推進事業 (3,949万円)
- 老人クラブ振興事業 (6,345万円)
- (新)「ねんりんスポーツフェスタ」開催事業 (550万円)
高齢者や子どもが楽しみながら交流できるウォークラリーの実施やスポーツ等の体験の場の提供等による運動習慣の定着を支援
- (拡)地域リハビリテーション支援体制整備事業 (1,390万円)
県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催 (総政 500万円)

○認知症対策の推進

- (新)認知症ピアサポート活動促進モデル事業 (100万円)
認知症の本人同士が自らの体験等を語り合える場の創出を支援
- (新)脳トレ・認知症予防地域相談機能強化事業 (200万円)
地域の健康教室や介護予防教室などにおいて認知症講義・相談会を開催
- (拡)認知症対応力向上研修事業 (320万円)
かかりつけ医及び保健師職員向けに認知症対応力向上研修会を開催して実施

○在宅・施設のバランスのとれたサービスの充実

- 地域密着型介護基盤整備事業 (11億7,000万円)
地域密着型の介護サービス施設整備に対する支援

- 富山型デイサービス施設支援事業 (2,197万円)
富山型デイサービスの施設整備支援、起業家育成講座等
- (新)再犯防止推進計画の策定 (50万円)
- 生活困窮者自立支援事業 (1,134万円)
生活困窮者に対する自立相談・就労支援等

○在宅医療・訪問看護の推進

- (拡)富山県在宅医療支援センター運営事業 (1,200万円)
- 在宅医療推進加速化事業 (650万円)
都市医師会の在宅医療推進に向けた取組みを支援
- 医療・介護連携促進基盤整備事業 (1,000万円)
地域の医療・介護関係者が在宅医療者の医療・介護情報をリアルタイムに共有・活用できるICTシステム整備を支援(2地域)
- 訪問看護ステーション整備支援事業 (1,150万円)
- 訪問看護職員の確保・定着のための働き方改革推進事業(780万円)
テレワーク型モデル事業、訪問看護師のトライアル雇用
- 訪問看護ステーション業務改善推進事業 (535万円)
- 訪問看護ステーション連携加速化事業 (509万円)
病院看護師と訪問看護ステーション職員との人材交流・相互研修等による看護スキル向上と連携強化を支援
- (新)訪問看護等在宅ハラスメント対策研修事業 (60万円)
訪問看護職員等のハラスメント被害防止のための研修を実施
- (新)訪問看護ステーションサポート事業 (180万円)
医療圏ごとに「訪問看護サポートステーション」を設置し、個別ステーションからの相談対応や研修を実施
- 回復期機能病床確保事業 (1億4,500万円)
- 小児在宅医療推進事業 (165万円)
小児在宅医療従事者の育成を支援

- 若年性認知症相談・支援センター事業 (519万円)
- (新)認知症患者受入体制整備支援事業 (2,160万円)
車いす対応認知症患者の受入れのための設備整備を行う病院・施設等への支援
- (拡)認知症疾患医療センター事業 (1,880万円)
認知症疾患医療センターの運営を支援するとともに、県認知症疾患医療連携協議会を設置し、地域連携体制を支援(4医療センター)
- (拡)認知症地域支え合い推進事業 (200万円)
- 認知症普及啓発事業 (70万円)

- 療養病床転換支援事業 (2,650万円)
- 高齢者が住みよい住宅改善支援事業 (1,000万円)

福祉人材の養成・確保・資質向上

- (拡)元氣とやま福祉人材確保・応援プロジェクト事業 (7,740万円)
- (新)介護に関する入門的研修事業 (350万円)
介護業務の入門的な知識・技術の取得のための研修を実施
- (新)魅力ある職場づくりセミナー開催事業 (100万円)
介護事業所職員が働きやすい職場づくりを目的とした経営者等向けセミナー
- (新)外国人介護人材活用支援事業 (100万円)
事業所を対象にした、制度の周知や受入体制に関するセミナーを開催
- (拡)中学・高校生介護人材発掘事業 (424万円)
中学高校の社会科授業や課外活動等での要領書作成に対する総合窓口の設置等
- 潜在介護福祉士等復職支援事業 (250万円)
潜在介護福祉士等への復職前研修・職場体験・マッチング
- 介護事業所インターンシップ事業 (100万円)
県内高校生を対象とした介護事業所でのインターンシップ
- 介護人材居住応援事業 (438万円)
首都圏等居住の介護人材の富山への移住促進
- 高校生への介護の魅力PR冊子作成・配付事業 (153万円)
県内の高校1年生に介護の仕事のPRする冊子を作成・配付

- がんばる介護職員応援事業 (1,221万円)
優秀な中堅介護職員の表彰、テレビCMや新聞広告による普及啓発
- 新任介護職員ネットワーク形成支援事業 (300万円)
合同入職式、フォローアップ研修の開催
- 介護職員処遇改善加算取得促進支援事業 (330万円)
社会保険労務士派遣によるキャリアパス整備支援や新たな加算の周知
- 福祉・介護職員処遇改善加算取得促進特別支援事業 (200万円)
- がんばる介護事業所表彰事業 (230万円)
- 要介護度の維持改善や雇用環境改善に取り組む事業所を表彰
- 介護ロボット普及促進モデル事業 (850万円)
介護現場の身体的負担軽減を図るため、移乗支援型ロボットをユニット単位で活用するモデル事業を支援(2事業者)
- (新)介護ロボットによる職場環境改善加速化事業 (400万円)
職場環境・処遇改善に積極的な事業者に対し、ロボット導入による即効性のある職場環境改善の取組みを支援

子育て支援等の充実

○家庭、地域における子育て支援

- 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施
- (拡)施設型給付費支援事業 (総政・厚生 46億4,191万円)
幼児教育・保育の無償化実施に係る経費を含む、保育所、幼稚園、認定こども園等の運営、質の改善を支援
- (拡)保育士確保総合対策事業 (2,964万円)
保育士修学資金貸付、保育士の魅力PR動画の制作等
- (拡)地域子ども・子育て支援事業 (3億7,302万円)
地域子育て支援拠点の運営や一時預かり事業等の実施を支援
- 特別保育事業 病児病後児保育@147箇所等 (3億8,143万円)
- 病児・病後児保育充実促進事業 (480万円)
- 年度途中入所等保育士確保事業 (2,790万円)
- 認定こども園整備事業6市町11箇所 (総政・厚生 6億2,155万円)
- 子どもの居場所づくり
- (拡)放課後児童クラブ支援事業 (4億4,153万円)
クラブ(補助対象@230→@24箇所)の運営や18時超の開設@110→@115、うち18時30分超@85→@91)等を支援
- とやまっ子さんさん広場推進事業 @27箇所 (1,099万円)

○特別な支援を要する子ども・家庭等への支援

- (新)児童虐待防止緊急対策事業 (500万円)
児童虐待ホットラインを新たに作成し、教育委員会・警察とともに説明会を開催するなど連携協力体制を強化するほか、里親支援研修等を実施
- 子どもほっとサロン事業 (185万円)
こども食堂の取組みを支援

○女性の健康づくり、出産に対する支援

- 切れ目ない妊産・出産包括支援推進事業 (138万円)
- (拡)大学生ライフプランデザイン支援事業 (90万円)
大学生等に対し妊産・出産を含めたライフプランを考えるワークショップを実施

障害者福祉の充実

○理解の促進と権利擁護の推進

- (拡)障害者理解普及啓発事業 (1,017万円)
若年層を対象とした条例・ヘルプマークの普及啓発

○自立と社会参加支援

- 地域生活の支援
- 社会福祉施設等施設整備事業 (2億102万円)
- 障害者グループホーム設置促進事業 (1億1,409万円)
- 障害福祉施設設立上乗せ支援事業 (200万円)
- (新)障害者支援施設等ロボット導入支援事業 (60万円)
- 障害者芸術文化活動普及支援事業 (970万円)
- (拡)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 (80万円)
地域における精神障害者支援体制構築のための取組みに不可欠な基盤
- (新)パーキングパーミット制度の導入 (1,000万円)
車いすを使用するなど歩行が困難な高齢者や障害者等に利用証を交付することにより、障害者専用駐車区画の適正利用を促進

○工賃水準の向上と就業機会の拡大

- (新)障害者工賃向上支援事業 (1,050万円)
- (新)新分野進出等モデル事例普及事業 (100万円)
付加価値の高い商品開発や新分野事業への進出の促進を図るためのモデル的な取組を支援
- (拡)障害者の一般就労・タラサポート事業 (高労 600万円)
- 障害者就業・生活支援センター事業 (1,885万円)
- (新)障害を持つ学生のチャレンジトレーニング等事業 (高労 620万円)
障害を持つ学生のインターンシップ体験や短期的職場実習実施により就職を支援
- 障害者チャレンジトレーニング事業 (高労 375万円)

○手話言語条例に基づく手話の普及等の促進

- (拡)手話普及等施設総合推進事業 (500万円)
手話の普及やキャンペーンの実施、障害福祉事業所での手話研修の開催等

■経済的負担の軽減・子育て支援の機運の醸成

- 保育所・幼稚園等保育料軽減事業 (総政・厚生・教委 2億2,933万円)
市町村と連携し、低所得世帯の第1子、第2子の保育料を無償化・軽減及び第3子以降の原則無償化
- (新)幼児教育・保育の無償化に係る事務費 (5億6,380万円)
- (新)保育所等副食費軽減事業 (1,388万円)
一定の所得の多子世帯の3～5歳児について副食費を無償化
- がんばる子育て家庭支援融資・利子補給 (11億4,567万円)
多子世帯向けに教育費等を実質無利子で融資
- とやまっ子さん子育て支援サービス普及促進事業 (1億3,539万円)
地域における各種保育サービスや予防接種等に利用できる
- 第4子以上誕生お祝い事業 (210万円)
紹介や県立文化・スポーツ施設の利用パスポートの配付等を実施

○ひとり親家庭子育てサポート事業

- ひとり親家庭子育てサポート事業 (246万円)
放課後児童クラブやファミリー・サポート・センターの利用料を助成
- (新)面会交流支援事業 (100万円)
ひとり親家庭の子どもと別れた親との面会交流の実施に向けた支援等
- 子ども・若者育成支援事業 (70万円)
社会生活を営む上で困難を有する子ども、若者に係る支援機関の相互連携体制を強化

(拡)不妊治療費助成事業

- 不妊治療費助成事業 (2億2,165万円)
特定不妊治療費や男性不妊治療費の助成
男性不妊の初回治療の助成額を拡大(15万円→30万円)
- 不育症治療費助成事業 (395万円)

○適切なサービスの提供

- リハビリテーションの提供と重症心身障害児者支援の充実
- 富山県リハビリテーション病院・子ども支援センターの運営(5億5,927万円)
- (新)児童発達支援センター支援体制強化事業 (3,200万円)
児童発達支援センター(福祉型)の専門職員の配置等による機能強化を支援
- (新)医療的ケア児等支援者及びコーディネーター養成事業 (50万円)
医療的ケアを提供できる人材育成の推進
- 多様な障害等に対する対応
- 発達障害者支援センターの運営 (2,613万円)
- 発達障害医師対応力強化事業 (100万円)
- (新)ほっと安心!発達障害ハンドブック普及事業 (200万円)
発達障害者の特性や対応等を盛り込んだハンドブックを作成・配布し、保護者等支援の強化
- (拡)ハートフル保育カウンセラー派遣事業 (600万円)
- 高次脳機能障害支援センターの運営 (422万円)
- (拡)盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業 (130万円)
派遣対象者の障害程度や年齢要件を拡充
- (新)失語症者への意思疎通支援事業 (50万円)
言語障害のある失語症者の意思疎通を支援する人材を養成
- 軽度・中等度難聴児補聴器購入等支援事業 (1,675万円)
- 難病相談・支援センターの運営 (1,675万円)
- 指定難病等医療費助成 (13億4,021万円)
- (新)ひきこもり支援民間団体紹介事業 (120万円)

※所管部局名のない事業は、厚生部所管事業